

2016年9月12日（月）12:10～12:40

岡山市西川緑道公園・平和像 前

北朝鮮の5回目の核実験に抗議して座込み

2016年9月9日、北朝鮮が今年1月に続く5回目の核実験を行なった。岡山県平和センターと核実験抗議座込み岡山市民の会は12日昼、抗議の座り込みを行なった。あいにくの雨模様の中、団体・市民ら35名が傘をさしながら参加した。岡山市被爆者会の平末豊会長は、「原水禁運動が始まって60年、これまで、いかなる核実験にも反対してきた。年はとっても黙っておれない」と強い怒りで訴えた。また、県平和センターの梶原洋一議長は、「ヒロシマ・ナガサキで核の実相を見てきた。核はそれ自体存在悪であり、ミサイル・核と危険な開発は許されない」と引き続く北朝鮮の核実験を強く批判した。座込みの参加者は「核兵器の非人道性を省みず、核兵器の能力向上をはかる北朝鮮政府の姿勢は、国際社会の強い非難をあびるもの」だとの「声明」を確認して、お昼休みの座り込みから職場などに戻った。

